

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	水質管理等強化対策費		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度(組換)		担当課室	水道課		水道課長 石飛 博之		
会計区分	一般会計		施策名	IV 4 2 安全で質が高く災害に強い水道を確保する。				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	水道法第4条第2項		関係する計画、通知等	「水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等について」 「水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	水道原水管理の強化のため、水道原水の水質汚濁の原因となっている農薬や溶剤等の新しい化学物質について水質検査方法等の検討、水質検査の精度管理、水道用薬品等について、水道水質に影響を及ぼさないような基準の策定を行う。 (水質基準) 第4条 2 前項各号の基準に関して必要な事項は、厚生労働省令で定める。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	外部精度管理調査計画の策定・実施、水質検査機関担当者を対象とした研修会の実施、一部の登録水質検査機関を対象とした精度の取組(検査機器・薬品等の管理)に関する実地調査の実施 水道水中の物質の濃度を測定するための水質検査方法の設定、水道用薬品に関する検討・調査							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	14	14	14	14	14	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	14	14	14	14	14	
	執行額	12	13	14				
執行率(%)	85.7%	92.9%	100.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (毎年度)
	水質基準適合率		成果実績	%	99.97	集計中	-	100
			達成度	%	99.97	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	調査実施件数 (調査参加機関数×実施項目数)		活動実績 (当初見込み)	件	778 ( - )	790 ( - )	806 ( - )	- ( - )
			算出根拠		7,000,000 <sup>※1</sup> /806=8,685 ※国立医薬品食品衛生研究所振替額のうち、外部精度管理調査計画の策定・実施等実施分			
単位当たりコスト	8,685(円/件)							
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.5	0.5					
	委員等旅費	1.0	1.0					
	庁費	0.3	0.3					
	食品等試験検査費	12.3	12.3					
	計	14.1	14.1					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	業務を実施するにあたり、当局または当課の取組を十分に理解し、かつ水道水質検査に関する専門的な知識を有している必要があため一部随意契約としている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>支出先・使途については、振替の依頼過程、成果物の発注及び納品過程において十分に把握できており、内容についても仕様に見合った成果品とすべく、中間の業務実施過程において適宜協議している。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>水質管理等強化対策費については、水道法に基づく必要な事業であり、予算の執行の観点からも概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

厚生労働省 9.4百万円

水道原水管理の強化、水道法に基づく登録検査機関の水質検査の信頼性を確保、水道用薬品等の基準の設定

【振替】

A. 国立医薬品食品衛生研究所 8百万円

・外部精度管理調査計画の策定・実施  
・水質検査機関担当者を対象とした研修会の実施  
・水道水中の物質の濃度を測定するための水質検査方法の設定

【一般競争入札】

D. 和光純薬 5.5百万円

・外部精度管理調査用試料の調製

【少額随契】

B. 東京設計事務所 0.8百万円

・登録水質検査機関を対象とした精度に関する取組(検査機器・薬品等の管理)に関する実地調査の実施

【少額随契】

c. 日本翻訳センター 0.6百万円

・浄水技術ガイドライン等の翻訳

対象外 4.2百万円

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.国立医薬品食品衛生研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	試料の調製	5.5			
事務費等	事務費、資料管理費、データ処理費	1.5			
調査費	試験法の検討	1.0			
計		8	計		0
B.東京設計事務所			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事務費	事務費	0.5			
その他	調査員交通費	0.3			
計		0.8	計		0
C.日本翻訳センター			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事務費	翻訳費	0.6			
計		0.6	計		0
D.和光純薬			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
試料調製費	試料の調製	5.5			
計		5.5	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.国立医薬品食品衛生研究所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立医薬品食品衛生研究所	外部精度管理調査計画の策定・実施、水質検査方法の設定等	8	振替	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.東京設計事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京設計事務所	精度に関する取組(検査機器・薬品等の管理)に関する実地調査の実施	0.8	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.日本翻訳センター

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本翻訳センター	浄水技術ガイドライン等の翻訳	0.6	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.和光純薬

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	和光純薬	外部精度管理調査用試料の調製	5.5	一般競争入札	100%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					